



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(6月12日時点)

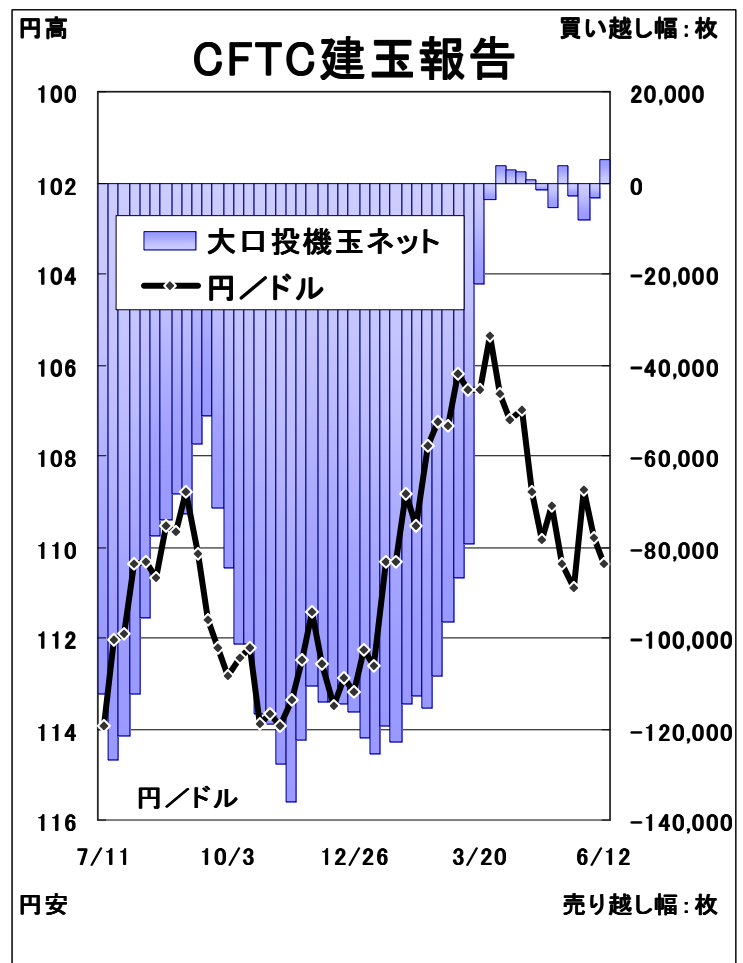
米商品先物取引委員会(CFTC)が6月15日に発表した建玉報告によると、12日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)は前週の売越から買越に転じ、買越幅は5052枚となった。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、買いポジションをより多く増やした。

期間中の円(対ドル)は軟調。先進7カ国(G7)首脳会議(サミット)を控え、全般は様子見機運が広がり、総じて109円台半ばで推移した。注目されたG7では、焦点の貿易問題について、「ルールに基づく国際貿易体制の重要性を強調し、引き続き保護主義と闘う」との首脳宣言を発表したが、トランプ米大統領は異議を唱えるなど、米国と他の参加国との溝が鮮明になり、米国の保護主義政策に対する警戒感からドルが売られる場面もあったが、12日の米朝首脳会談の合意文書では朝鮮半島の非核化に向けた具体案は示されなかったが、波乱なく終了したことや、12日、13日両日開催の米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げ観測を背景とした円買いドル売りが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉の買越幅は、8万8225枚となり、前週比1011枚縮小。

イタリアではコンテ首相が正式に信任されたが、政局不安は継続。財政悪化等も懸念される中伊10年債の売り圧力は再度高まり、長期金利上昇に伴うユーロ買いが進行した。ただ、14日の欧州中央銀行(ECB)理事会などの重要イベントが控えることで上げ幅は限られた。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
前週比	0.59	+8,489	+0.0029	-1,011



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。